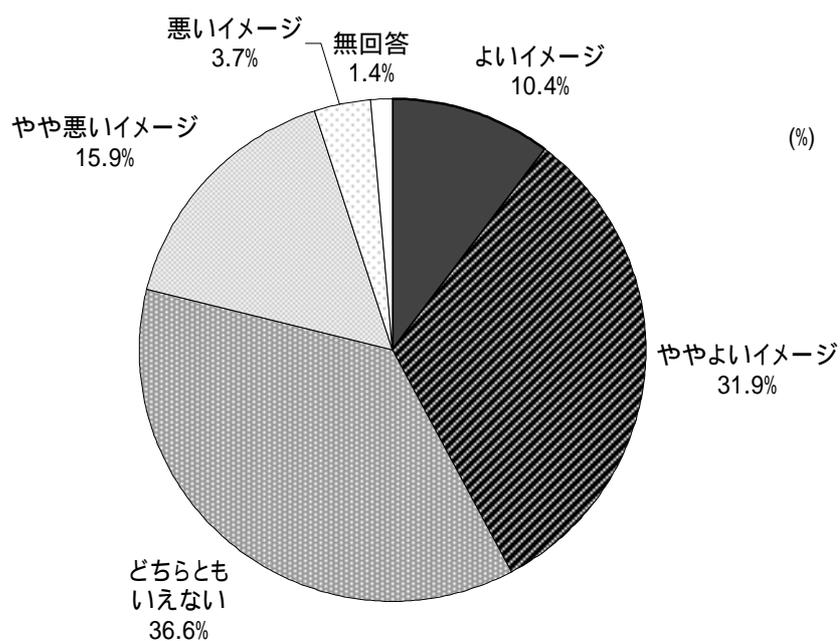


9. 多摩川

(1) 多摩川のイメージ

問24 あなたは、現在の多摩川について、どのようなイメージをお持ちですか。(1つだけ)

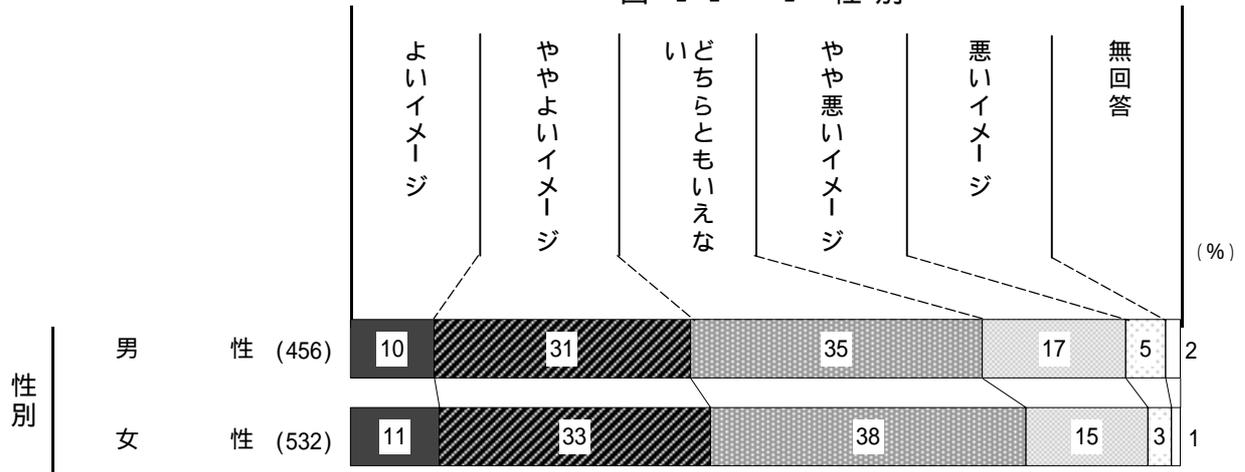
図 22 - 1



【全体 = 988】

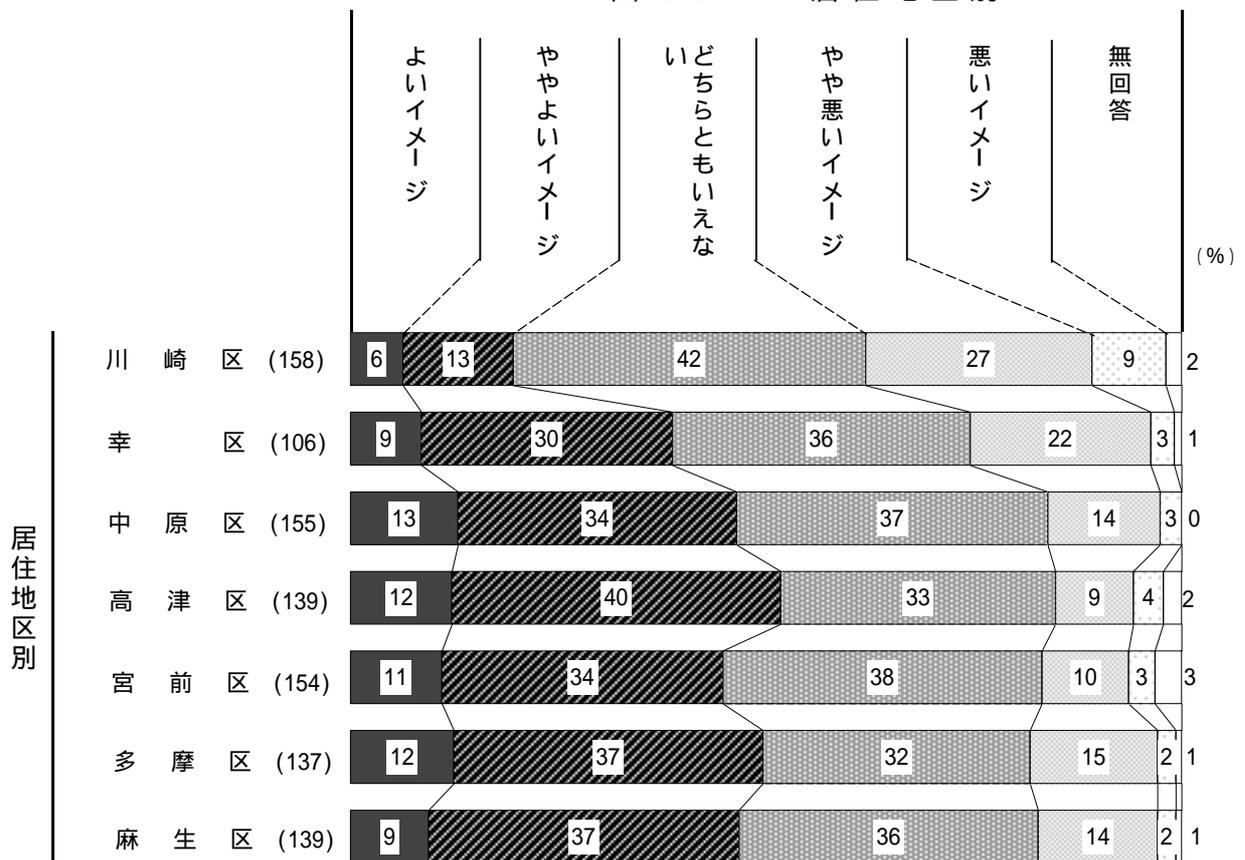
多摩川のイメージについてたずねたところ、「どちらともいえない」が36.6%で最も多い。「よいイメージ」(10.4%)と「ややよいイメージ」(31.9%)を合わせた よいイメージ は42.3%となっている。一方、「悪いイメージ」(3.7%)と「やや悪いイメージ」(15.9%)を合わせた 悪いイメージ は19.6%となっている。

図 2 2 - 2 性別



性別では、男女ともに よいイメージ は40%強となっている。

図 2 2 - 3 居住地区別

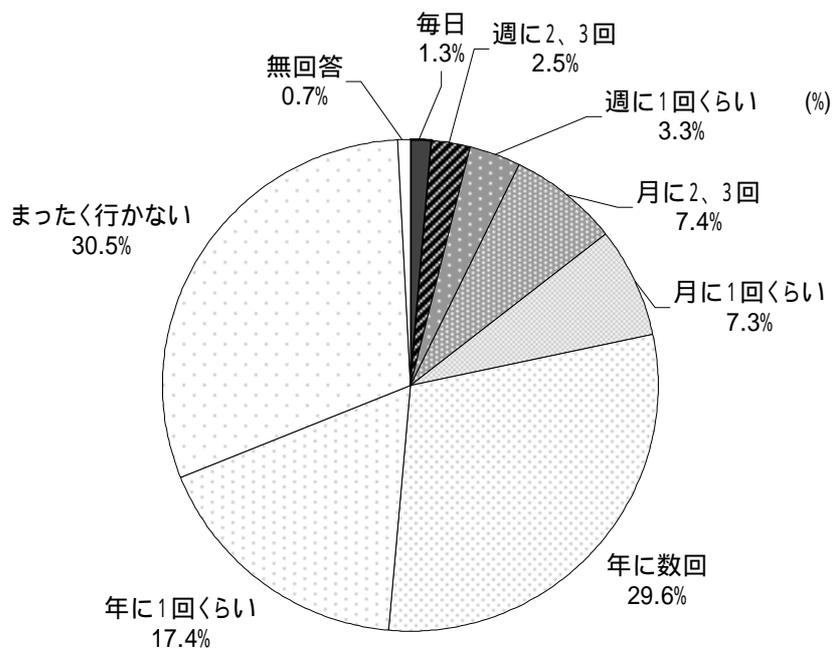


居住区別では、高津区、多摩区で よいイメージ が50%前後となっている。また、川崎区を除く他の区でも よいイメージ の割合が 悪いイメージ を上回っている。一方、川崎区では 悪いイメージ の割合が よいイメージ を上回っている。

(2) 多摩川へ訪れる頻度

問25 あなたは、多摩川にはどれくらいの頻度で行きますか。(1つだけ)

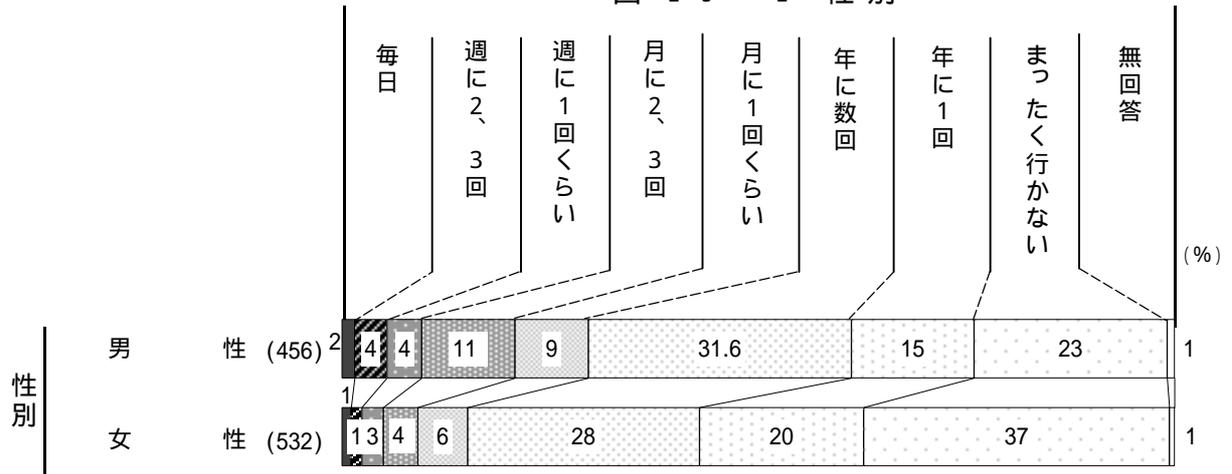
図 23 - 1



【全体 = 988】

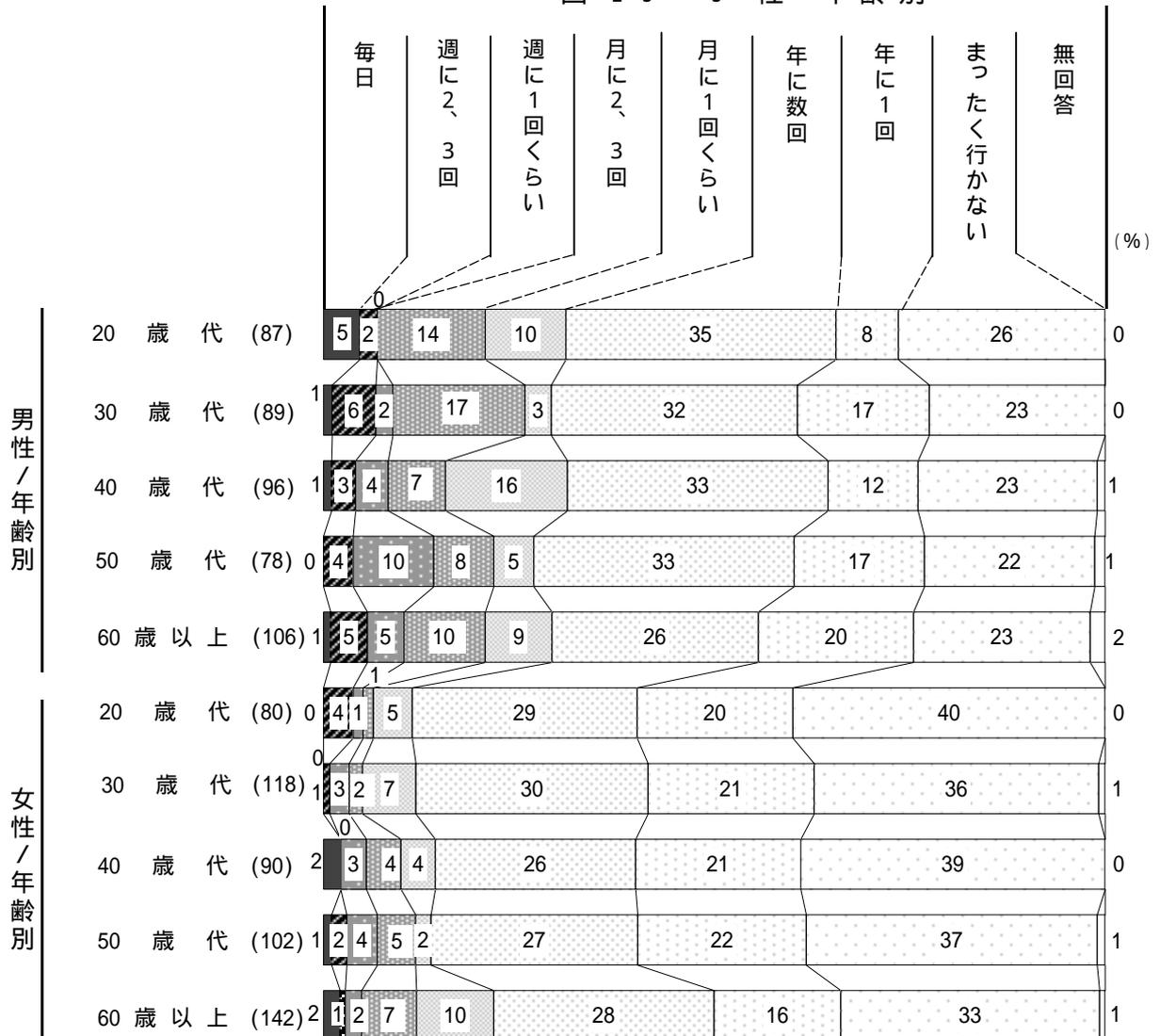
多摩川を訪れる頻度は、「まったく行かない」が30.5%で最も多い。「年に数回」は29.6%、「年に1回くらい」は17.4%で多摩川を訪れる頻度は少ない。「毎日」訪れる人は1.3%にすぎず、「週に2、3回」(2.5%)、「週に1回」(3.3%)はそれぞれ数%にとどまっている。「月に2、3回」(7.4%)、「月に1回」(7.3%)はそれぞれ7%程度となっている。

図 2 3 - 2 性別



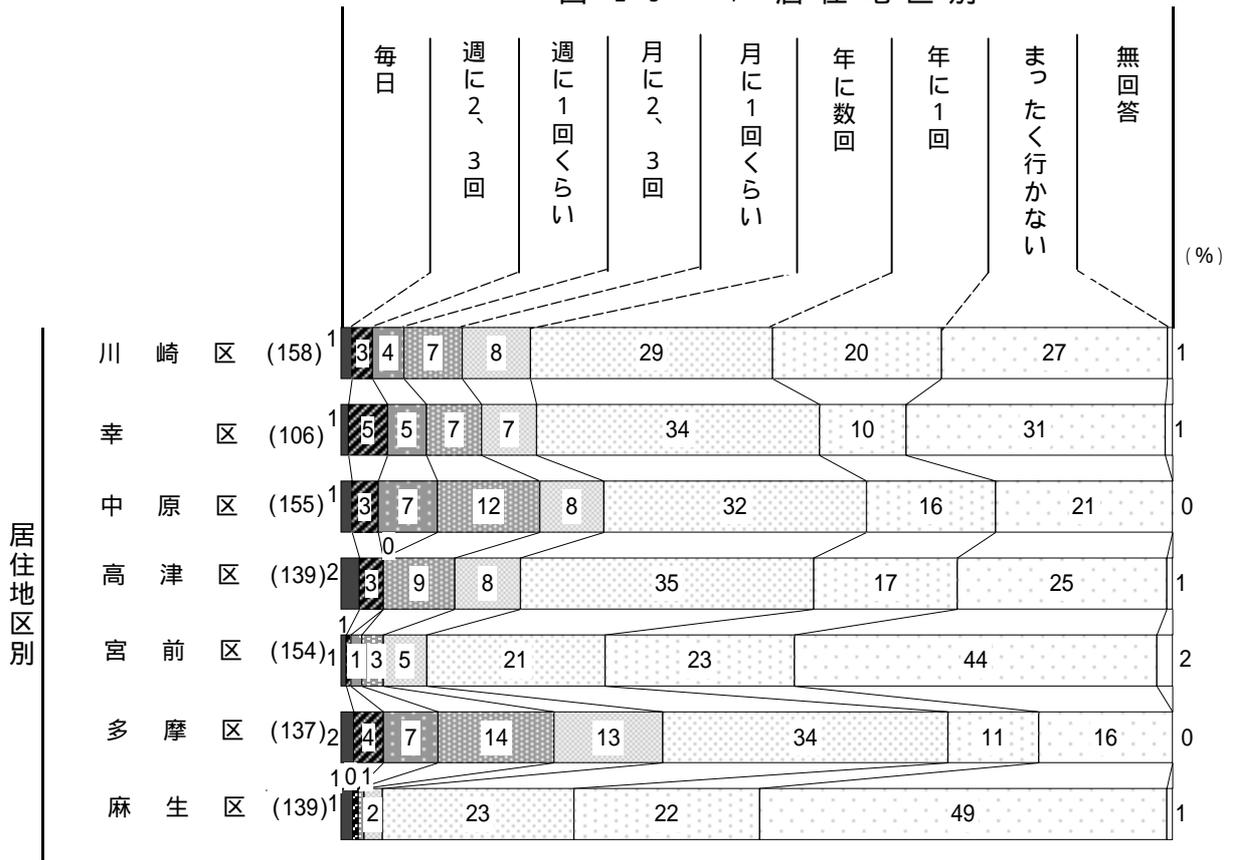
性別では、「まったく行かない」は女性の方が男性より多く、女性の方が多摩川を訪れる頻度が少ない。

図 2 3 - 3 性・年齢別



性・年齢別では、男性はすべての年齢において約30%程度が「月に1回」以上多摩川を訪れている。女性では60歳以上を除いて10%強が「月に1回」以上多摩川を訪れている。

図 2 3 - 4 居住地区別

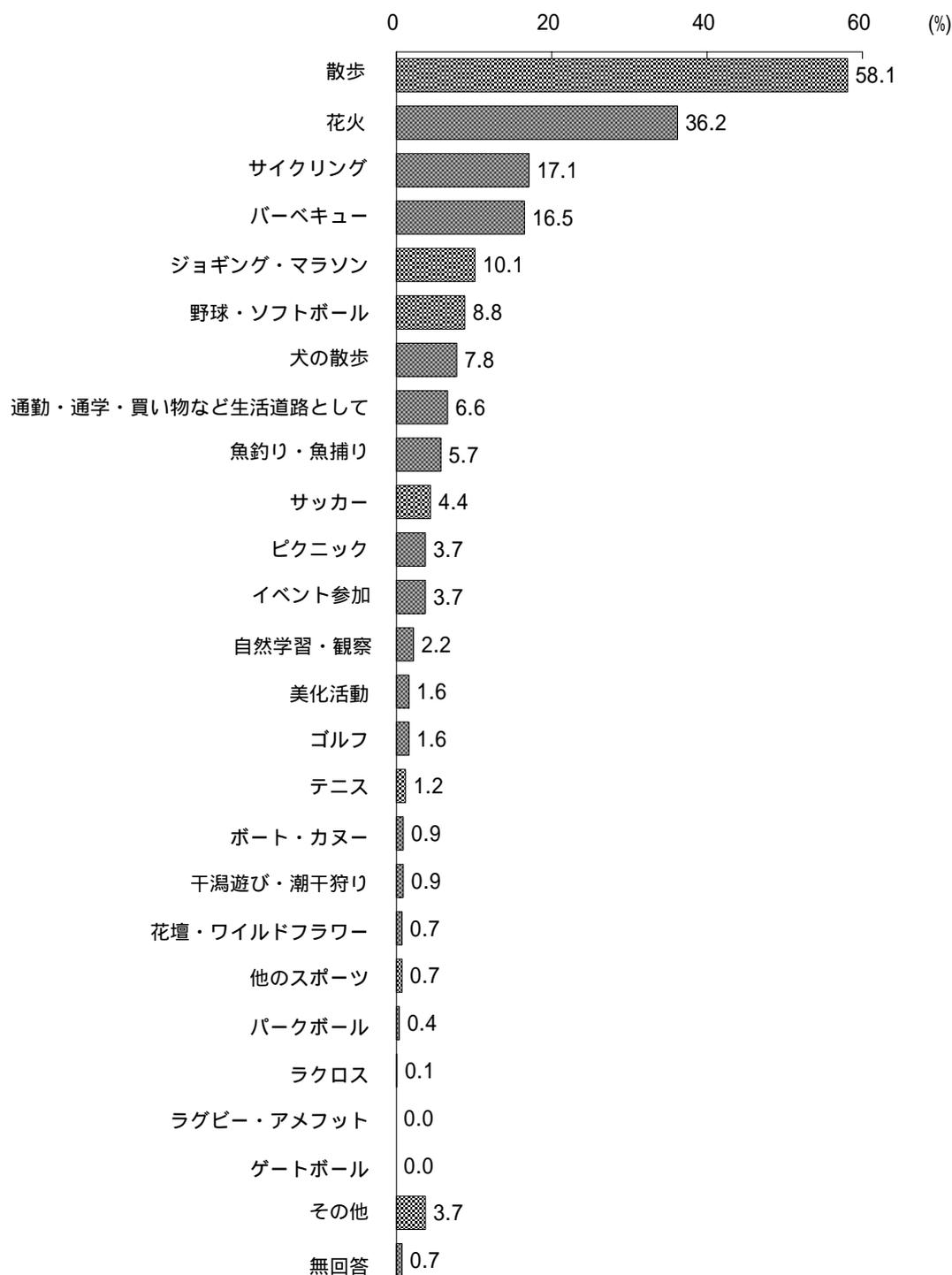


居住地区別では、中原区と多摩区が「月に1回」以上多摩川を訪れる頻度が30%を上回っている。川崎区、幸区、高津区では「月に1回」以上多摩川を訪れる頻度は20%強である。宮前区、麻生区では他の区に比べて多摩川を訪れる頻度が少なく、「まったく行かない」が40%以上を占めている。

(2) - 1 多摩川の利用内容

問26 あなたは、多摩川をどのように利用していますか。次の中から、多摩川で経験のあるものをいくつか選んでください。(いくつか)

図 23 - 5

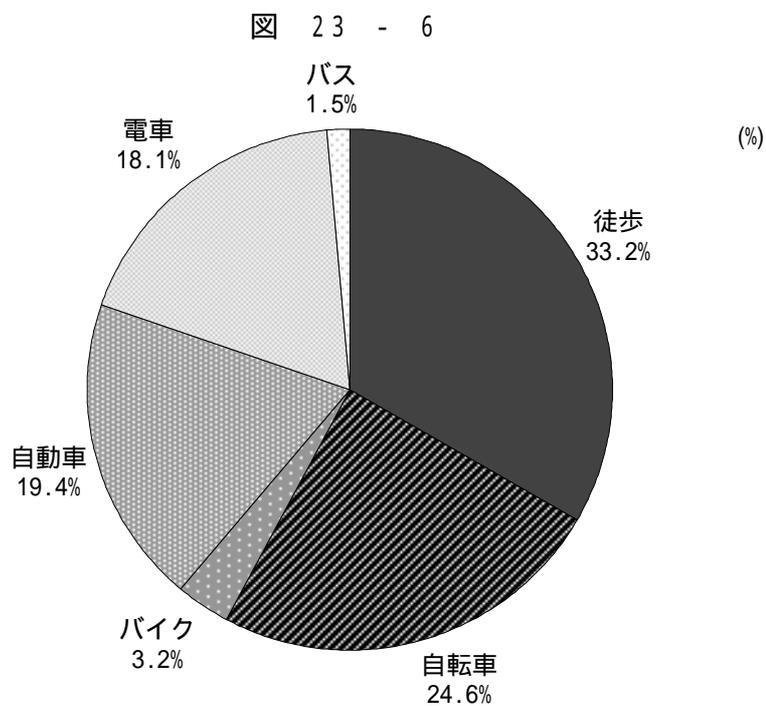


【全体 = 680】

多摩川の利用内容は、「散歩」が58.1%と突出しており、次いで「花火」(36.2%)、「サイクリング」(17.1%)、「バーベキュー」(16.5%)となっている。以下、「ジョギング・マラソン」(10.1%)、「野球・ソフトボール」(8.8%)、「犬の散歩」(7.8%)などと続いている。

(2) - 2 多摩川への交通手段

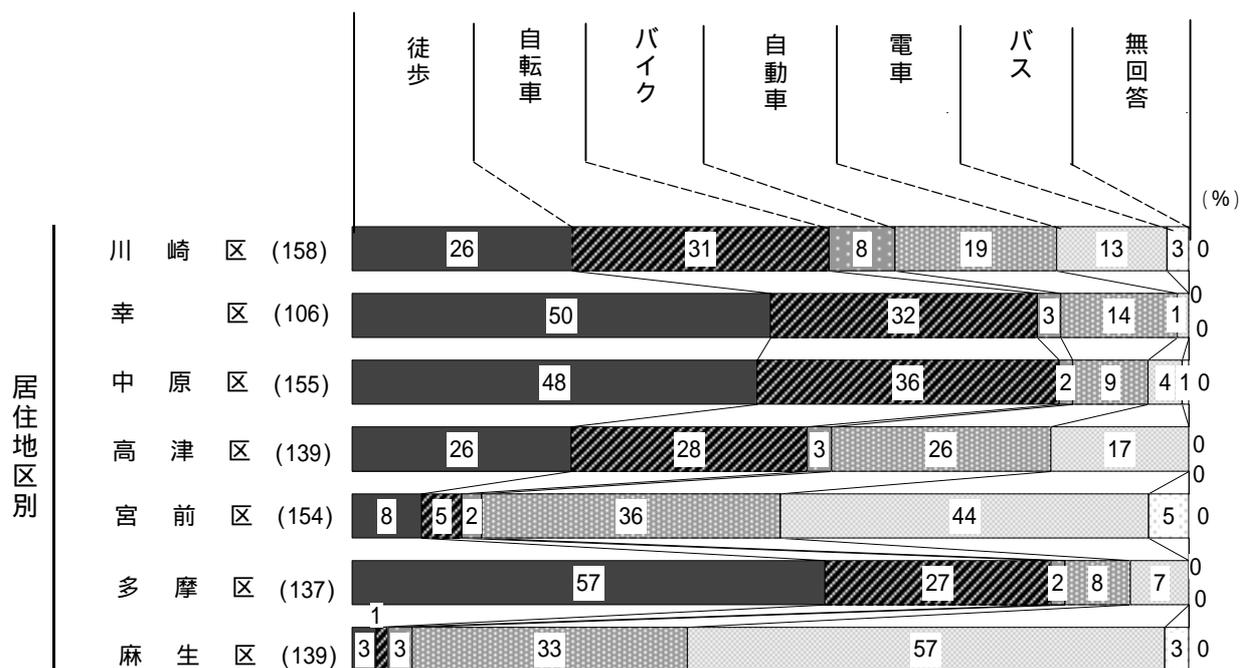
問27 あなたは、多摩川に行くまでどのような交通手段を利用していますか。次の中から
主なものを1つだけ選んでください。(1つだけ)



【n=680】

多摩川への交通手段は、主に「徒歩」(33.2%)、「自転車」(24.6%)、「自動車」(19.4%)、「電車」(18.1%)の4つに分散している。「バイク」(3.2%)と「バス」(1.5%)は少数である。

図 2 3 - 7 居住地区別

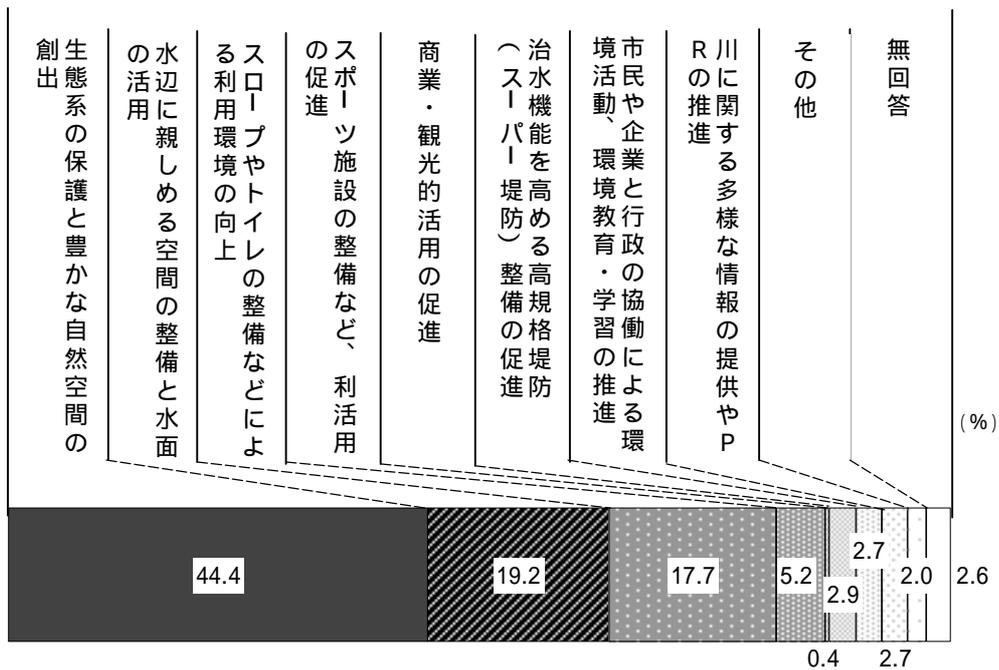


居住区別では、幸区、中原区、多摩区は多摩川への交通手段は「徒歩」が50%前後、「自転車」が30%前後となっている。宮前区、麻生区は「電車」と「自動車」で80%以上を占めている。川崎区、高津区は「自転車」が30%前後、「徒歩」、「自動車」、「電車」がそれぞれ13~26%程度で4つに分散している。

(3) 多摩川に関する施策を進める上で重要なこと

問28 あなたは、今後、多摩川に関する施策を進めていく上でどのようなことが重要だと思いますか。次の中から最も重要だと思うものを選んでください。(1つだけ)

図 24 - 1



【全体 = 988】

多摩川に関する施策を進める上で重要なことをたずねたところ、「生態系の保護と豊かな自然空間の創出」が44.4%で最も多く、「水辺に親しめる空間の整備と水面の活用」が19.2%、「スロープやトイレの整備などによる利用環境の向上」が17.2%、「スポーツ施設の整備など、利活用の促進」が5.2%となっている。「治水機能を高める高規格堤防(スーパー堤防)整備の促進」、「市民や企業と行政の協働による環境活動、環境教育・学習の推進」、「川に関する多様な情報の提供やPRの推進」はそれぞれ2%台となっている。

地区別では、すべての地区で「生態系の保護と豊かな自然空間の創出」が最も多い。次いで「水辺に親しめる空間の整備と水面の活用」と「スロープやトイレの整備などによる利用環境の向上」が並んでいる。

職業別では、すべての職業で「生態系の保護と豊かな自然空間の創出」が最も多くなっている。(印の記号は、サンプル数が少ないのでコメントを省略)

図 2 4 - 2 居住地区別

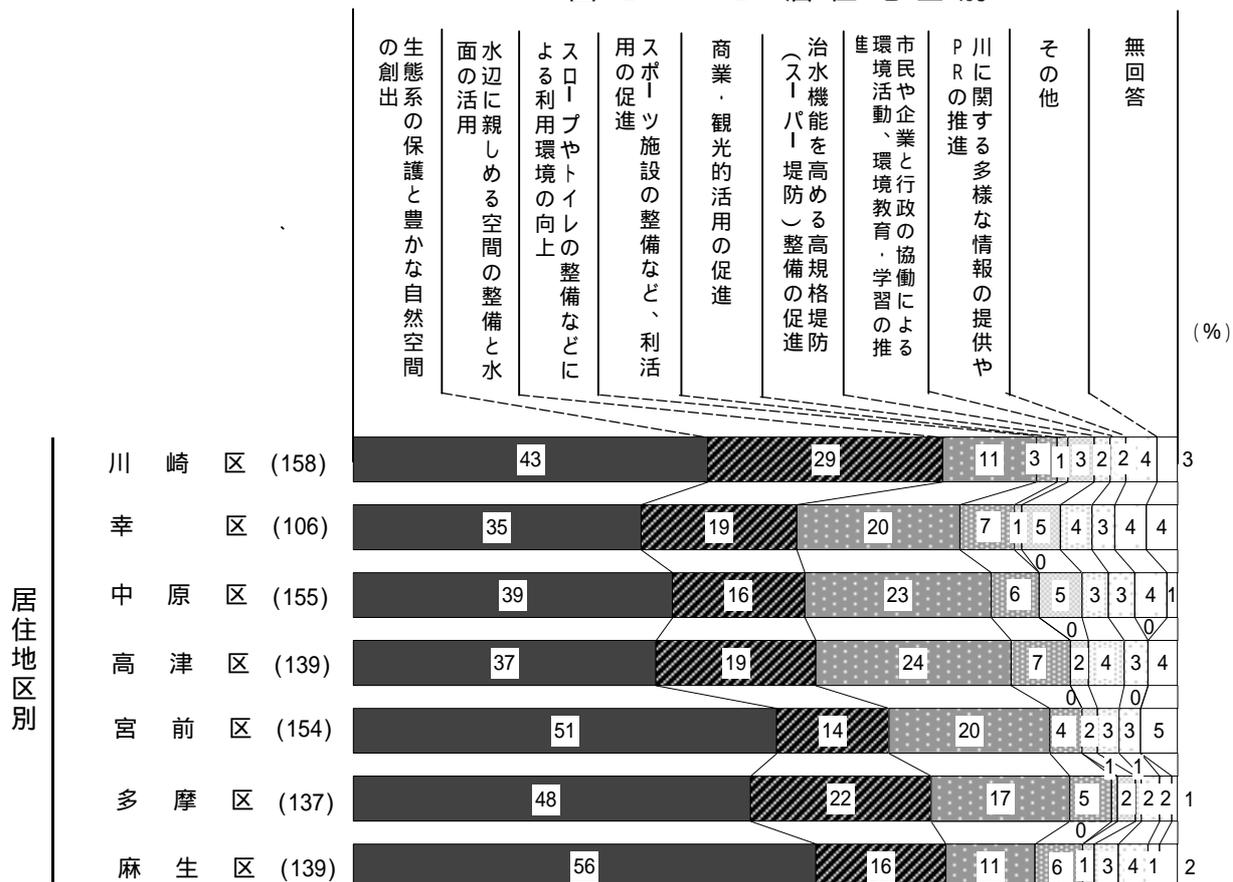
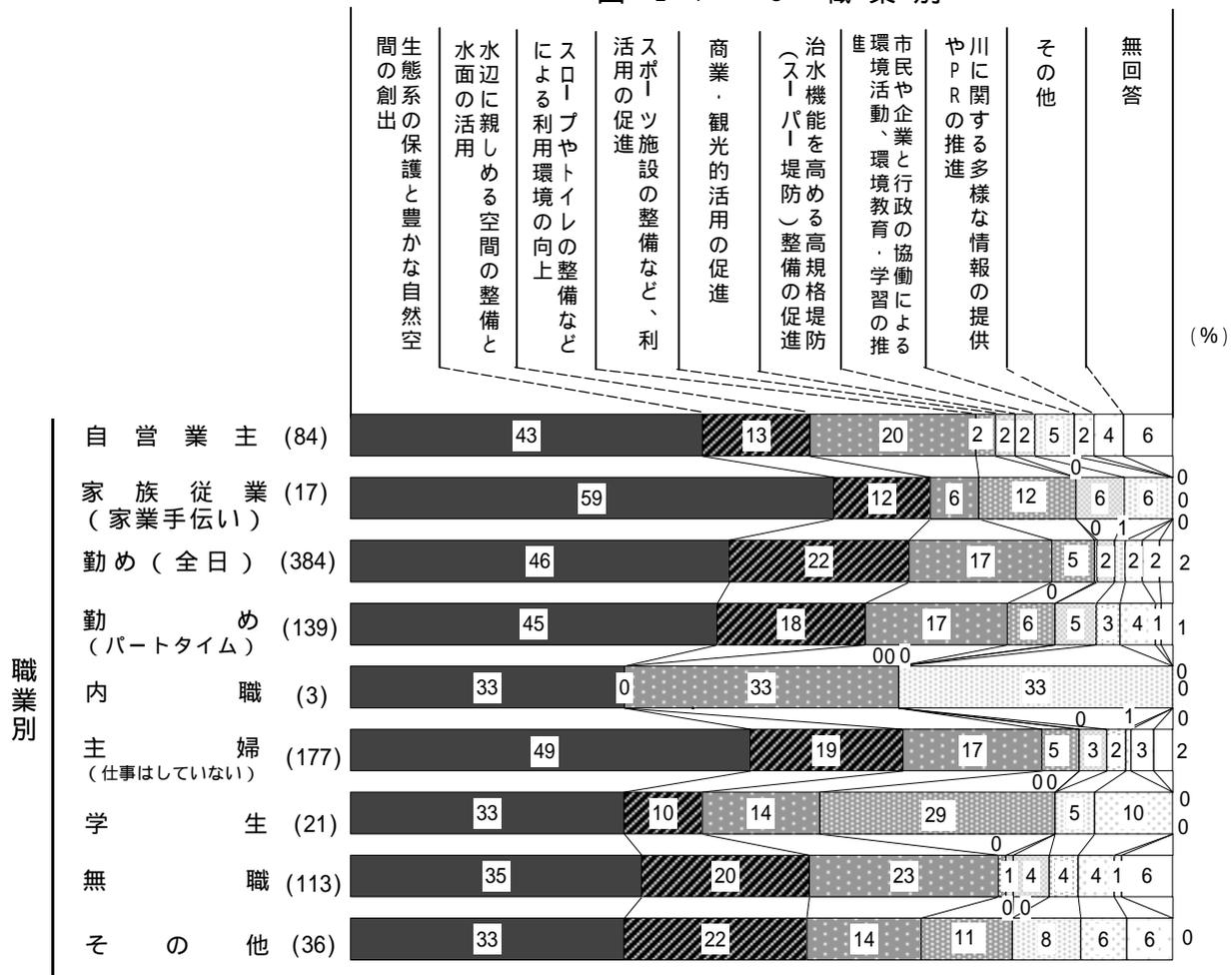


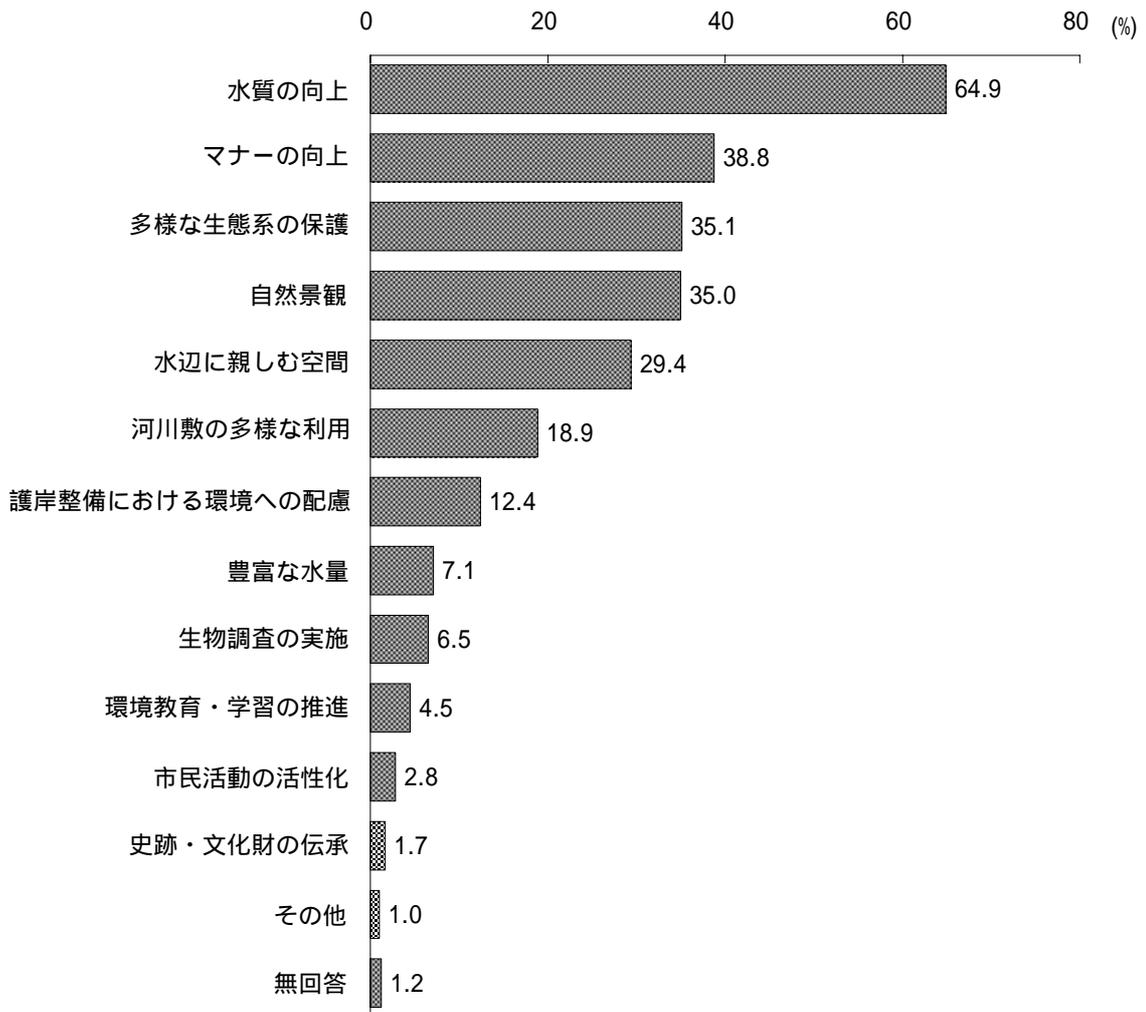
図 2 4 - 3 職業別



(4) 多摩川の保全に関して重要なこと

問29 あなたは、多摩川の保全に関してどのようなことが重要だと思いますか。次の中から3つまで選んでください。(3つまで)

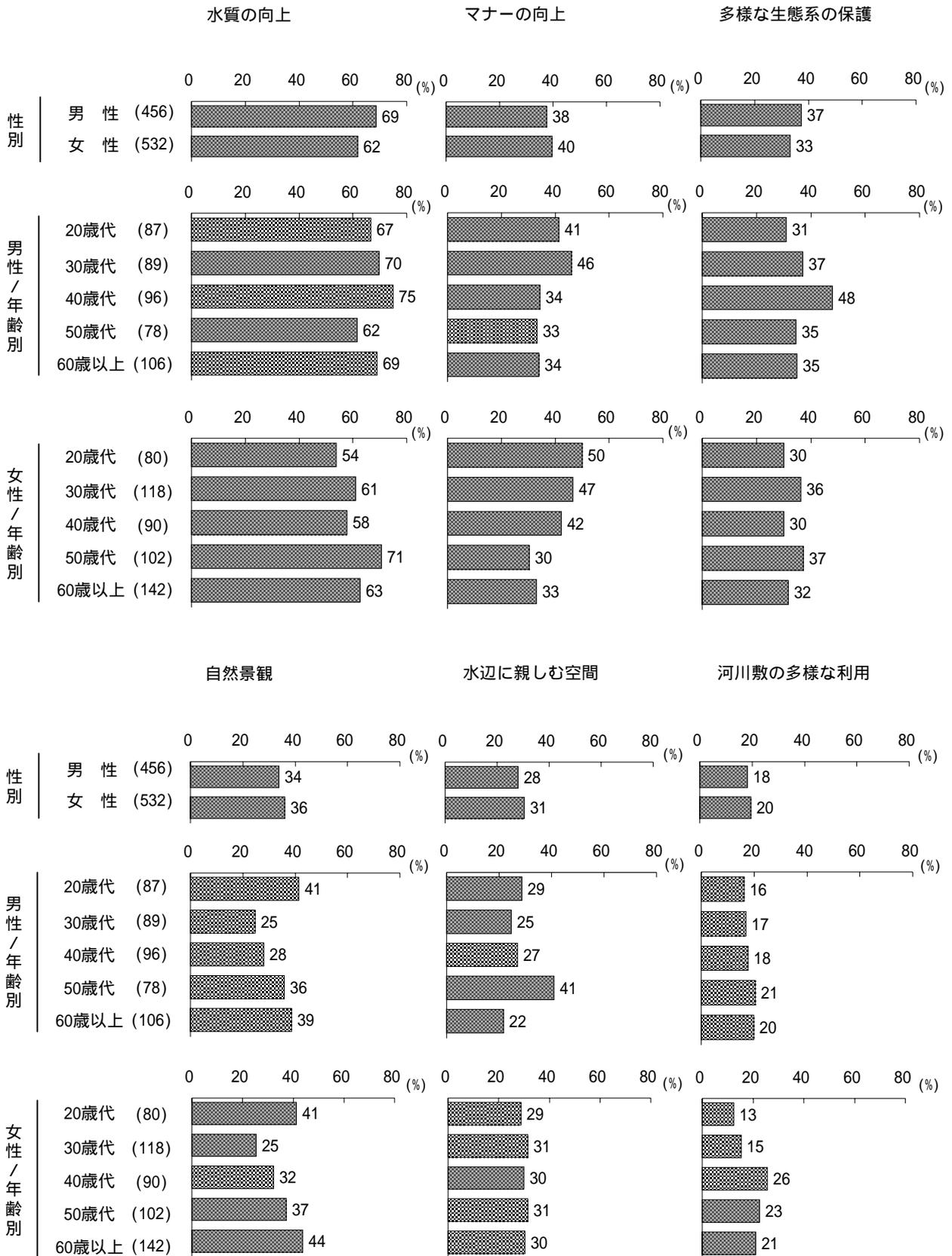
図 25 - 1



【全体 = 988】

多摩川の保全に関して重要なことをたずねたところ、「水質の向上」が64.9%と突出しており、「マナーの向上」(38.8%)、「多様な生態系の保護」(35.1%)、「自然景観」(35.0%)が僅差で続いている。以下、「水辺に親しむ空間」(29.4%)、「河川敷の多様な利用」(18.9%)、「護岸整備における環境への配慮」(12.4%)などと続いている。

図 25 - 2 性別 / 性・年齢別 (上位 6 項目)

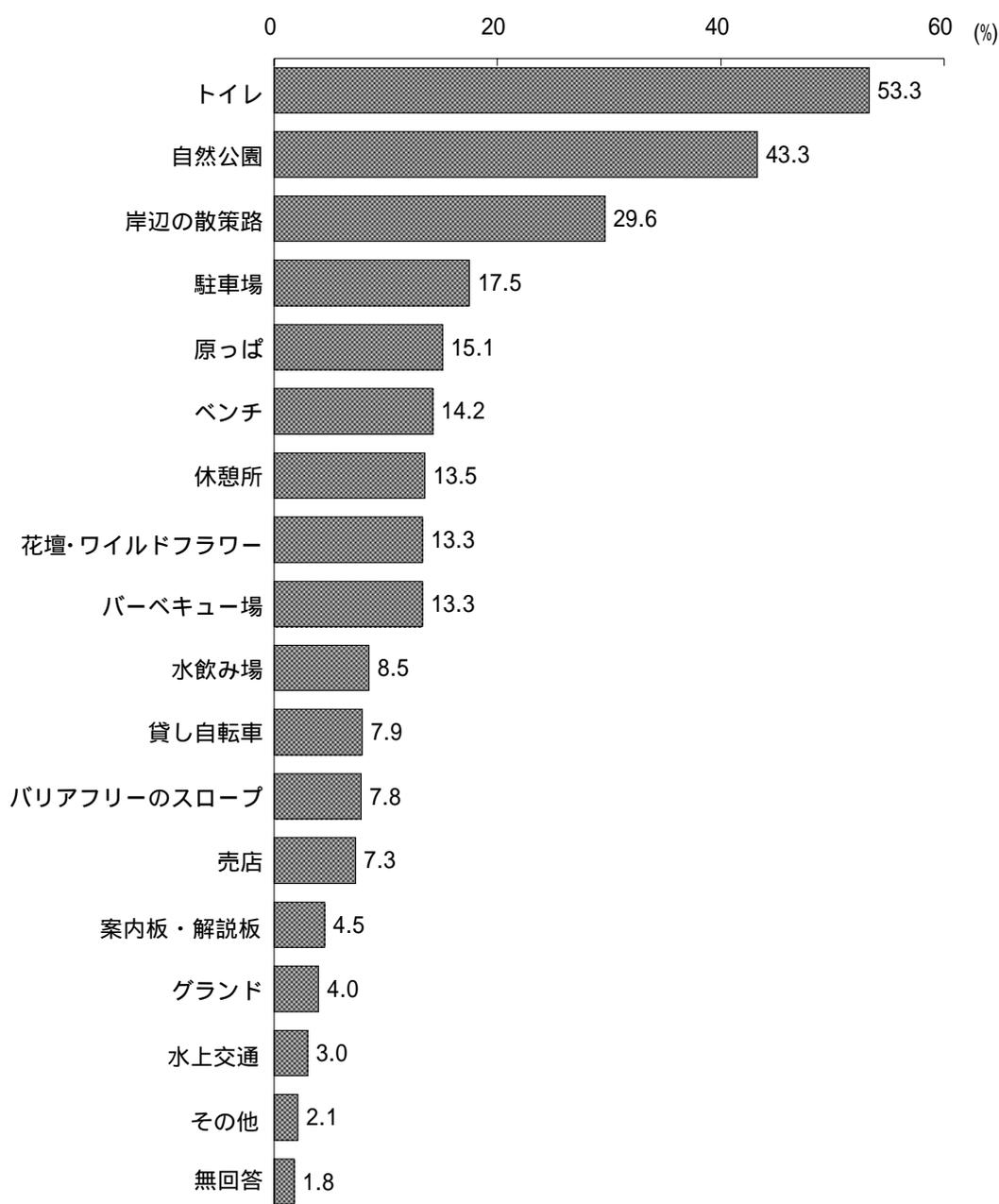


上位 6 項目の性・年齢別では、すべての性・年齢で「水質の向上」が最も多く、男性30歳から40歳代、女性50歳代では70%を超えている。「マナーの向上」は男女ともに若い年齢で多くなっている。「多様な生態系の保護」は男性40歳代で他の性・年齢より多くなっている。

(5) 多摩川に必要と思われる施設

問30 あなたは、多摩川にはどのような施設が必要だと思いますか。次の中から3つまで選んでください。(3つまで)

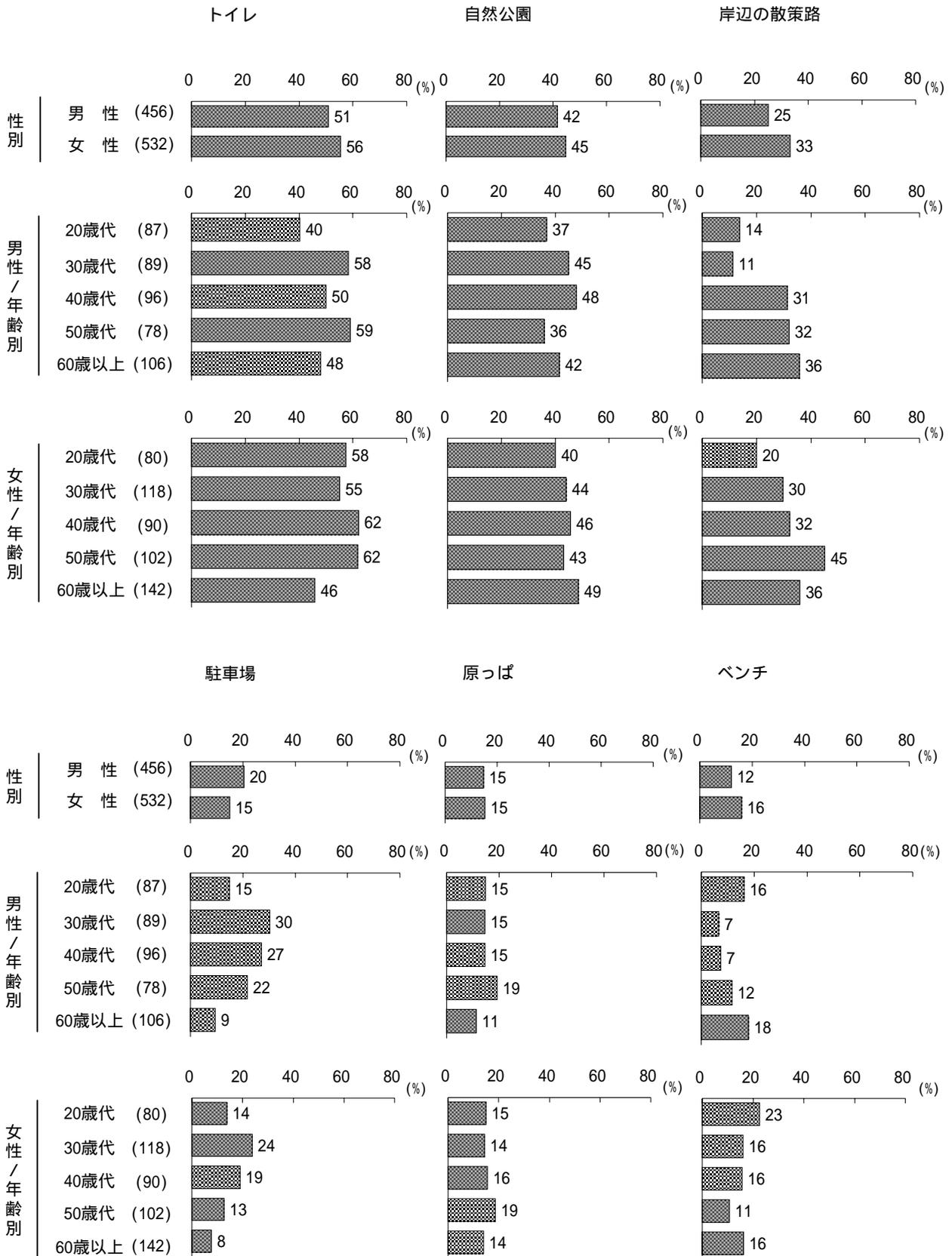
図 26 - 1



【全体 = 988】

多摩川に必要と思われる施設について、「トイレ」が53.3%と最も多く、次いで「自然公園」(43.3%)、「岸辺の散策路」(29.6%)となっている。以下、「駐車場」(17.5%)、「原っぱ」(15.1%)、「ベンチ」(14.2%)、「休憩所」(13.5%)などと続いている。

図 2 6 - 2 性別 / 性・年齢別 (上位 6 項目)

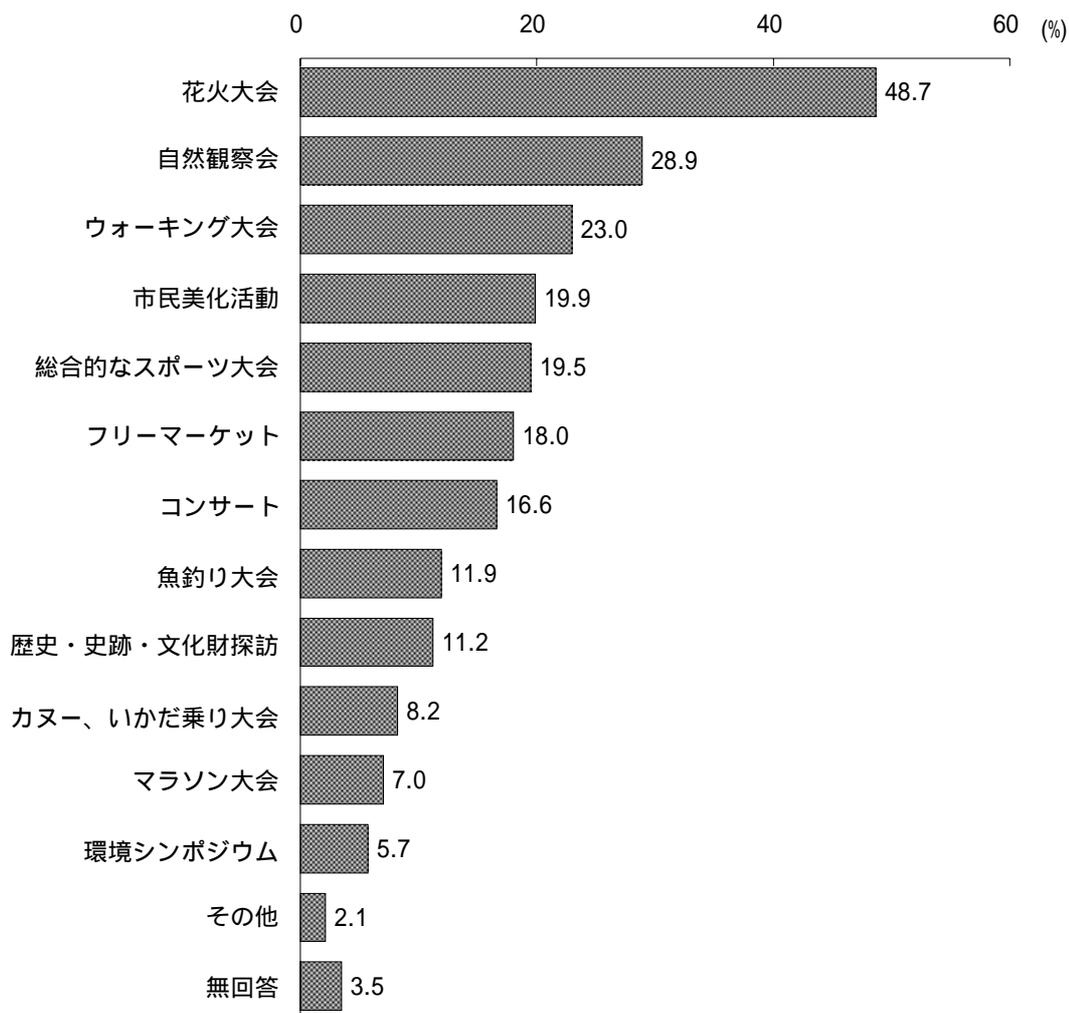


上位 6 項目の性・年齢別では、「トイレ」が女性60歳以上を除くすべての性・年齢で最も多くなっている。「自然公園」は女性ではすべての年齢で40%を上回り、男性は30歳から40歳代が他の年齢より多くなっている。「岸辺の散策路」は男女ともに40歳から60歳以上で要望が多くなっている。

(6) 多摩川で望むイベント

問31 あなたは、多摩川でどのようなイベントがあったらよいと思いますか。次の中から3つまで選んでください。(3つまで)

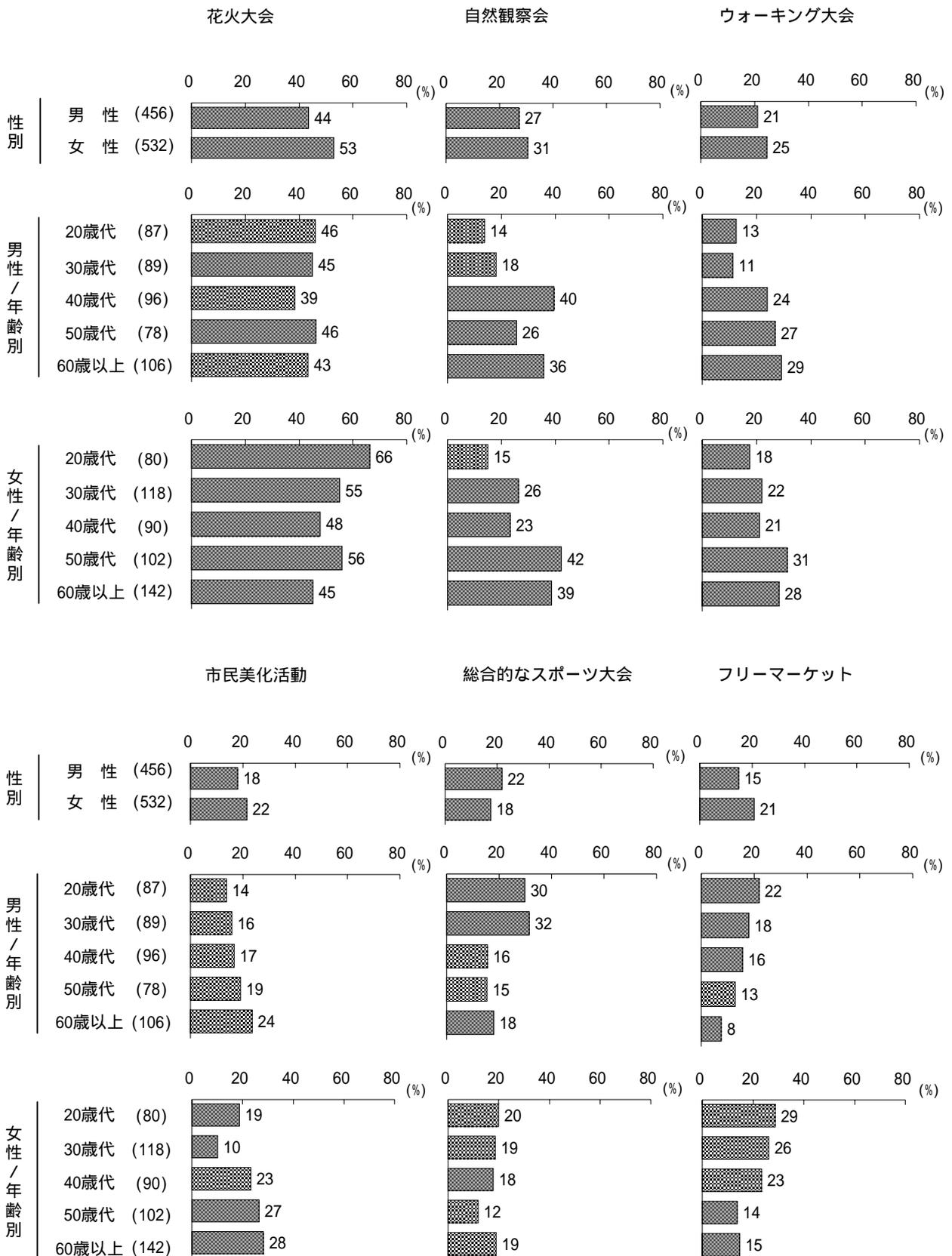
図 27 - 1



【全体 = 988】

多摩川で望むイベントをたずねたところ、「花火大会」(48.7%)が突出しており、次いで「自然観察会」(28.9%)、「ウォーキング大会」(23.0%)となっている。以下、僅差で「市民美化活動」(19.9%)、「総合的なスポーツ大会」(19.5%)、「フリーマーケット」(18.0%)が並び、「コンサート」(16.6%)、「魚釣り大会」(11.9%)などと続いている。

図 27 - 2 性別 / 性・年齢別 (上位 6 項目)



上位 6 項目の性・年齢別では、男性 40 歳代を除くすべての性・年齢で「花火大会」が最も多くなっている。「自然観察会」は男性 40 歳代、女性 50 歳から 60 歳代以上で多くなっている。「ウォーキング大会」は男女ともに 50 歳から 60 歳以上で他の年齢より多くなっている。